

ニカラグア定期報告（2020年1月）

【要旨】

内政・外交面では、UNAB 政策評議会メンバーとして12名が選出された。市民同盟及びUNABのメンバーが記者会見を開き、「国民連合」の発足を発表した。経済面では、電力料金付加価値税・補助金適用割合を変更した。また、中央銀行は昨年9月より未公表であったインフレ率を発表し、2019年のインフレ率を6.1%とした。当国政府は2020年度の経済成長率の見通しを0.5%とした。

【主な出来事】

1 内政・外交

(1) UNAB 政策評議会メンバーの選出

4日、「青と白の国民連合（UNAB）」を構成する組織内で政策評議会メンバー12名を選出する選挙が挙行された。選挙法改革及び税制改革の発表

(2) 選挙法改革及び税制改革の発表

9日、グスタボ・ポラス国会議長は2020年の立法に関するアジェンダを発表し、その中で選挙法の改革がアジェンダの一つである旨述べた。選挙法改革の目的は「民意の反映、政党制度、選挙組織、そして最高選挙管理委員会が所轄する技術的制度を強化するため」であるとした。また同発表の中で、免税制度の合理化を行うための租税法の改正も2020年のアジェンダである旨述べられた。

(3) 「国民連合」の発表

17日、市民同盟及びUNABのメンバーは記者会見を開き、「国民連合」の発足を発表した。ニカラグアを再建するための3ステップとして、「一切の排除なく」団結すること、国民の生活を保証するための選挙改革を推進すること、そしてすべてのニカラグア国民に国民連合への参加を呼びかけることであるとした。

(4) 鈴木外務副大臣のニカラグア訪問

15～16日、鈴木外務副大臣がニカラグアを訪問した。

(5) 米・イラン情勢に対する当国政府の動き

3日、当国政府は、プレスリリースを発表し、米国とイランの対立で緊張が高まるなか、ソレイマニ司令官殺害を偉大なる英雄に対する国際テロとし、イラン側に寄り添う姿勢を示した。6日、モンカダ外相、バルドラク・ジェンスケ大カリブ圏担当大統領顧問、シッタールタ・マリン国際問題担当大統領顧問、マレンコ外務副大臣、ルイス・モリナ東

欧州・中央アジア担当副大臣は在ニカラグアイラン大使館を訪問し、殺害されたソレイマニ司令官に対して弔意を捧げるため記帳を行った。また、当国政府は8日ウクライナ航空機墜落による死亡者に対する追悼のプレスリリースを発表した。

(6) ラ米カリブ共同体 (CELAC) 新議長国就任式典出席

7日、ニカラグア代表団は、メキシコ CELAC 新議長就任式典に参加し、モンカダ外相はベネズエラ、キューバと二国間会談を行った。メキシコシティで行われた同記念式典には、モンカダ外相、バルドラク・ジェンスケカリブ圏担当大統領顧問、シッタールタ・マリ国際問題担当大統領顧問、アウグスト・サモラ大統領顧問、ファン・カルロス駐メキシコニカラグア大使が出席した。

(7) モンカダ外相の国連安全保障理事会公開討論出席

9日、モンカダ外相は、ニューヨークの国連安全保障理事会の公開討論に出席した。同日、モンカダ外相は、国連安全保障理事会常任理事国・非常任理事国である6カ国(英国、仏、ベルギー、インドネシア、ニジェール、ベトナム)の国連大使と会談した。

(8) 台湾総統再選に対する祝辞

12日、ニカラグア政府は、オルテガ大統領、ムリージョ副大統領名で、再選を果たした台湾・蔡英文氏に対し祝辞メッセージを発表した。

(9) グアテマラ新大統領就任式への出席

14日、モンカダ外相、ソルサノ勸業・産業・通商大臣、マリ国際問題担当大統領顧問、リジャン・メンデス駐グアテマラニカラグア大使は、アレハンドロ・ジャマティグアテマラ新大統領就任式のためグアテマラを訪問した。また、その機会に友好関係のさらなる強化のため呉台湾外交部長、リサンドロ・ロサレスホンジュラス外相、グスタボ・メサ・クアドラペルー外相、ウーゴ・デ・セラ中米ペルー大使、パトリック・ファーバーベリーズ教育大臣、アントニオ・マロウフ・モラレスグアテマラ経産大臣らとバイ会談を実施した。

(10) ニカラグア軍と中米国軍会議との諜報部門高官会議の開催

20日～23日、マナグア市内にてアビレス・ニカラグア国軍司令官が議長を務め、中米国軍会議 (CFAC : La Conferencia de Fuerzas Armadas de Centroamerica) の各国諜報部門高官による会議を開催した。参加国は、ドミニカ共和国、ホンジュラス、エルサルバドル、グアテマラであり、オブザーバーとして米国、メキシコが参加した。

(11) 治安関連

○専用道路に設置された約5キロにわたる電柱・電線等の盗難事案の発生

14日の当地新聞報道によると、マナグア市の専用道路「サバナ・グランデ」の電柱、電線等（時価8万5千米ドル）が約5キロの区間に渡り、何者かに破壊され盗難された。

○違法薬物による多額の犯罪収益の押収

25日、ヌエバ・セゴビア県において、警察当局はコカインによる犯罪収益と見られる約140万ドル（約1億5千万円）の現金を輸送中の男2名を逮捕した。

○先住民地区で発生した大量殺人事件被疑者のコスタリカにおける逮捕

昨年10月3日リオ・サンファン県の先住民保護区で発生した先住民一家5人が殺害された事件の被疑者3人が、コスタリカ国境警察において身柄を拘束された。

○先住民地区襲撃による大量殺人事件

29日、北カリブ沿岸自治区ボサワス・アラルに位置する先住民共同体「マジヤング」を、約80人の銃を所持する武装集団が襲撃、共同住居を焼き討ちにするなどして、少なくとも6人が殺害、10人が行方不明になっている。

○海軍によるカリブ海沖におけるホンジュラス船籍の船舶からのコカインの押収

30日、カリブ海北部の海上において、海軍は薬物対策のオペレーションを実施し、ホンジュラス船籍の船舶から230包（約250キロ相当）を押収した。身柄を拘束した船員の4名は、全員ホンジュラス国籍であった。

(12) 世論調査結果

世論調査会社M&R Consultores 社が、2019年12月15日～21日に実施した世論調査結果を発表した。一部重要論点のみ概要以下のとおり。

ア 現在当国が抱える主要な問題

○経済：55.8%（失業 34.9%，貧困 8.8%，物価高 8.4%，投資不足 2.7%，その他 1.0%）

○政治：29.4%（政治問題 25.5%，汚職 3.7%，弾圧 0.2%）

○社会：12.8%（犯罪行為 9.7%，交通事故 1.5%，女性への暴力 1.3%，その他 0.3%）

○どちらでもない：9.7%，その他 1.5%

イ 家庭の経済状況（1年前との比較）

良くなった：17.5%

変わらない：27.1%

悪くなった：55.4%

ウ 治安状況（5年前との比較）

良くなった：53.8%

変わらない：5.1%

悪くなった：40.7%

無回答：0.4%

エ COSEP／CONIMIPYME の労働者に対するの貢献

○COSEP

良い：42.1%

普通：29.0%

悪い：24.9%

分からない・無回答：4.1%

○CONIMIPYME

良い：57.9%

普通：27.2%

悪い：9.3%

分からない・無回答：5.6%

オ COSEP／CONIMIPYME の当国経済発展への貢献

○COSEP

とても良い・良い：70.4%

とても悪い・悪い：21.4%

分からない・無回答：8.2%

○CONIMIPYME

とても良い・良い：84.2%

とても悪い・悪い：6.7%

分からない・無回答：9.1%

カ COSEP／CONIMIPYME と政府の対話の必要性

○COSEP と政府

対話を続けるべき：91.8%

対話をやめるべき：4.0%
分からない・無回答：4.2%

○CONIMIPYME と政府

対話を続けるべき：91.8%
対話をやめるべき：2.6%
分からない・無回答：5.8%

キ 民間セクターと公共セクターが対話をした場合の優先すべきテーマ

雇用創出：22.2%
収入増加：18.6%
生活必需品の価格安定：17.3%
治安回復：9.4%
教育の質の改善：9.3%
政治問題の解決：8.7%
市民の自由：7.7%
選挙改革：6.6%
その他：0.2%

ク 政党支持について

○FSLN

強く支持：52.0%
支持：8.9%
分からない・無回答：5.1%
不支持：10.2%
強く不支持：23.9%

○野党

強く支持：23.9%
支持：10.2%
分からない・無回答：5.1%
不支持：8.9%
強く不支持：52.0%

ケ FSLN を打倒するためには、経済に悪影響になったとしても道路封鎖（トランケ）をしても構わない

不支持：92.2%

支持：6.2%

コ 道路封鎖（トランケ）は異常（突飛な）考えだ

支持：93.2%

不支持：5.9%

サ ダニエル・オルテガ大統領を解任すべきという考えに対して

支持：21.6%

不支持：69.6%

分からない・無回答：8.8%

シ ニカラグアは、2018年の危機を乗り越えており、正しい方向に進んでいる

強く支持・支持：60.4%

どちらでもない：28.4%

強く不支持・不支持：10.6%

分からない：0.7%

ス 政府に対する評価

良い政府：61.1%

独裁国家：32.0%

分からない：6.9%

セ 政府は誰の利益のために働いているか

全ての国民：69.3%

富裕層のみ：27.2%

分からない：3.6%

2 経済

(1) 当国政府による中米経済統合銀行（BCIE）及び国際復興開発銀行（BIRF）の株式購入

17日、国会がオルテガ大統領の緊急動議の依頼を受け、中米経済統合銀行（BCIE）及び国際復興開発銀行（BIRF）（世界銀行）の2.27億米ドルの株式を購入することを決定した。そのうち2.04億米ドルはBCIEの株式購入に使用される。

(2) 2020年度国家予算概要

昨年12月10日、ニカラグア政府が国家執行部に提出した2020年度国家予算法案が、国会本会議にて賛成多数で可決された。歳入は客年比13%増の約792億コルドバ（約23.57億米ドル）、歳出は客年比1.1%増の約809億コルドバ（約24.07億米ドル）（経常支出約636億コルドバ、資本支出約172億コルドバ）である。赤字分の約17億コルドバ（約5060万米ドル）については無償資金援助及び借款によって賄われる。約148億コルドバ（客年比13%減）が公共投資に充てられる。また当国政府は2019年の経済成長率を当初のマイナス1.1%からマイナス3.5%に変更し、2020年度の経済成長率を0.5%としている。

(3) 2020年当国の経済の見通し

○ニカラグア中央銀行の2020年当国の経済の見通し

レジェス中銀総裁は、2019年のインフレ率を6.13%、マネタリーベース14%増加、外貨準備率23.9億米ドルとした上で、「2019年の当国の輸出は2018年比13.6%増加し、とりわけフリーゾーンと第1次産業部門での輸出増加による経済回復が見られた。2019年は財政バランスを保証する年であったが、2020年は経済回復のさらなる強化を行なう年でなければならない。」とポジティブに述べた。ちなみに、当国政府はここ数年のマイナス成長とは対照的に、2020年度の経済成長率の見通しを0.5%としている。

○IMFによる2020年当国の経済の見通し

Alejandro Werner IMF 西半球地域担当部長は、「中米地域（ニカラグア、コスタリカ、ホンジュラス、エルサルバドル、グアテマラ、パナマ、ドミニカ共和国）の2020年の経済成長率の見通しは3.9%であり、昨年（3.2%）以上の経済成長が見込まれる。しかし、ニカラグアにおいては政治的緊張が経済回復の向かい風になるだろう」とネガティブに本国の経済見通しを述べた。ちなみに、IMFが2019年に発表した4条協議に係わる報告書では、2020年の当国の経済成長率の見通しをマイナス1.2%としている。

(4) 電力料金付加価値税・補助金適用割合の変更

2018年より月300kWh以上の電力利用者に対して7%の付加価値税（IVA）が導入されてきたが、2020年より同付加価値税の15%適用が決定した。年金受給者に対する電気料金の補助金に関しては、月151～300kWhの利用者に対しては5%、301kWh以上の利用者は10%の削減となった。また月101kWh以上使用する利用者の場合、5%の補助金削減となった。電力料金付加価値税・補助金適用割合率は以下の通り。

ア 付加価値税適用率

電力消費量 (月)	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
0～ 150kWh	0%	0%	0%	0%	0%
151～ 300kWh	7%	7%	7%	15%	15%
301～1000kWh	7%	7%	15%	15%	15%

イ 年金受給者への補助金適用割合

電力消費量 (月)	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
0～ 150kWh	50%	50%	50%	50%	50%
151～ 300kWh	45%	40%	35%	30%	25%
301kWh 以上	40%	30%	20%	10%	0%

ウ 電力低使用者別補助金適用割合

電力消費量 (月)	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
0～ 50kWh	52.8%	52.8%	52.8%	50%	50%
51～ 100kWh	52.8%	52.8%	52.8%	50%	45%
101～ 125kWh	50%	40%	35%	30%	25%
126～ 150kWh	40%	30%	25%	25%	25%

<主要経済指標>

	2018年	2019年	2019年/2020年		
			11月	12月	1月
インフレ率 (対前年同月)	3.9%	6.1%	5.7%	6.1%	未発表
貿易収支 (百万ドル)	▲2,312.4	未発表	未発表	未発表	未発表
輸出 FOB (百万ドル)	2,516.9	未発表	未発表	未発表	未発表
輸入 FOB (百万ドル)	4,829.4	未発表	未発表	未発表	未発表
海外送金受取額 (百万ドル)	1,501.2	未発表	未発表	未発表	未発表
外貨準備高 (百万ドル/期末)	2,261.1	未発表	2,352.3	未発表	未発表

ニカラグア中央銀行は昨年9月よりインフレ率を公表していなかった。しかし21日、昨年各月のインフレ率を発表した。

2019年のインフレ率 6.1%

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
インフレ率 (%)	3.3	3.4	5.1	5.8	6.0	5.6	6.1	6.3	5.6	5.4	5.7	6.1

(出典：ニカラグア中央銀行)

(了)